

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和05年09月15日

計画の名称	岡山県の安全・安心・快適な都市公園整備												
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	岡山県												
計画の目標	<p>計画的な維持管理や施設の更新等を行うことで、利用者の安全・安心及び快適な公園施設の利用を確保し、中長期的なトータルコストの縮減及び平準化を図る。</p> <p>岡山後楽園は特別名勝に指定されている庭園であり、県を代表する観光施設でもあることから、来園者がより安全・安心で快適に利用できるよう、トイレなど老朽化した公園施設の改築等を行う。</p> <p>岡山県総合グラウンド及び倉敷スポーツ公園においては、老朽化した公園施設の更新を行い、より安全・安心で快適な公園を整備し、公園の利用促進を図る。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	727	A	727	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	H31末	R03末
1	長寿命化計画に基づき、計画的な改築又は更新を実施する。(最終目標値:100%)			
	長寿命化計画に基づき、(改築又は更新した施設数)/(整備計画において改築又は更新が必要な施設数)×100	0%	20%	100%
2	岡山後楽園のトイレの評価点をあげる。(評価点4及び5の占める割合、現況:61% 最終目標:80%以上)			
	岡山後楽園アンケート調査によるトイレの評価点について、5段階評価のうち5点及び4点が占める割合を80%以上とする。	61%	70%	80%
3	岡山県総合グラウンド及び倉敷スポーツ公園の年間公園施設利用者数を増加させる。(現況:1,047千人 最終目標:1,151千人)			
	岡山県総合グラウンド及び倉敷スポーツ公園の年間公園施設利用者数を増加させる。	1047千人	1099千人	1151千人

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	岡山県	直接	岡山県	-	-	岡山県公園施設長寿命化 対策支援事業	長寿命化対策 3公園	岡山県						492		策定済	
	A12-002	公園	一般	岡山県	直接	岡山県	-	-	岡山県公園施設長寿命化 計画策定事業	健全度調査(2回目)	岡山県						10		策定済	
	A12-003	公園	一般	岡山県	直接	岡山県	-	-	岡山県公園施設長寿命化 対策支援事業(5か年防 公)	長寿命化対策 1公園	岡山県						118		策定済	
	A12-004	公園	一般	岡山県	直接	岡山県	-	-	岡山県公園施設長寿命化 対策支援事業(5か年老 朽)	長寿命化対策 3公園	岡山県						107		策定済	
												小計						727		
												合計						727		

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
岡山県において評価を実施	令和5年9月
	公表の方法
	岡山県ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	改修工事の実施により、安心・安全及び快適な公園施設の整備が図られた。 トイレの整備により、利用者の満足度の向上が図られた。 新型コロナウイルスの影響で利用者は減少した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
老朽化した公園施設の更新を行い、より安全・安心で快適な公園を整備し、公園の利用促進を図る。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	改築又は更新数の割合		
	中間 目標値	20%	改築又は更新が必要な施設が多いため
	中間 実績値	15%	
2	後楽園トイレの高評価の割合		
	中間 目標値	70%	利用の多い箇所を優先的に改修したため
	中間 実績値	80%	
3	年間利用者数の向上		
	中間 目標値	1099千人	新型コロナウイルスの影響
	中間 実績値	945千人	